

平成24年におけるボイラー等の 災害発生状況

平成24年に発生したボイラー及び圧力容器関係の事故のうち、重大なものとして事故発生の事業場を所轄する労働基準監督署で調査を実施した事故は8件であり、これらの事故に伴う死傷者数は8名（うち死亡1名）であった。

容器の内訳は、ボイラーの事故5件で死傷者3名（うち死亡1名）、圧力容器の事故3件で死傷者5名となっている。

業種の内訳は、「製造業」が5件、「医療保険業」、「その他の清掃・と畜業」、「農業」がそれぞれ1件となっている（表1参照）

事故の種類別にみると、爆発が3件、破裂が3件、高温物との接触が2件となっている。（表1及び表2参照）

これらの事故の要因についてみると、爆発3件の事故に対して3件の要因が認められる。こ

れらの要因の内訳は、「構造の欠陥」が1件、「管理の不良」が2件である。さらに、「構造の欠陥」については、「構造不良」が1件、「管理の不良」については、「点検整備の不良」及び「その他」がそれぞれ1件となっている。

破裂3件の事故に対して3件の要因が認められる。これらの要因の内訳は、「構造の欠陥」が1件、「管理の不良」が2件である。さらに、「構造の欠陥」については、「自動制御装置の不備」が1件、「管理の不良」については、「その他」が2件となっている。

高温物との接触2件の事故に対して2件の要因が認められる。これらの要因の内訳は、「管理の不良」が2件である。さらに、「管理の不良」については、「作業方法手順の誤り」2件となっている。（表3参照）

表1 ボイラー及び圧力容器の災害の種類別・業種別件数、死傷者数

（平成24年1月～12月）

業種の種類	ボイラー等の種類	災害の種類	ボイラー		小型ボイラー		第一種圧力容器		第二種圧力容器		その他の圧力容器（適用外）		計	
			災害件数	死傷者数	災害件数	死傷者数	災害件数	死傷者数	災害件数	死傷者数	災害件数	死傷者数	災害件数	死傷者数
製造業	爆発		3	2(1)									3	2(1)
	破裂						1	2(0)	1	0(0)			2	2(0)
医療保険業	高温物との接触										1	3(0)	1	3(0)
その他の清掃・と畜業	高温物との接触		1	1(0)									1	1(0)
農業	破裂		1	0(0)									1	0(0)
合計			5	3(1)			1	2(0)	1	0(0)	1	3(0)	8	8(1)

（注）（ ）内は死亡者数で内数

表2 ボイラー及び圧力容器の種類別、災害の種類別件数

(平成24年1月～12月)

災害の種類	ボイラー										小型 ボイラー	第一種 圧力容器	第二種 圧力容器	その他の圧力容器適用外	合計					
	蒸気						温	貫	小計											
	水管式	立て形	炉筒煙管式	鋳鉄製	廃熱	その他														
合計	1		2				1	1			1	1	1	1	8					
爆発	1		2												3					
破裂							1				1	1			3					
高温物との接触								1						1	2					

表3 ボイラー及び圧力容器の種類別、災害の要因別件数

(平成24年1月～12月)

事故の要因	構造の欠陥								管理の不良								安全装置不良			合計
	溶接工作	板厚	材質	構造	自動制御装置の不備	その他の不備	小計	点検整備の不良	監視	計装器類の故障	作業方法手順の誤り	技能の未熟（無資格も含む）	給水を怠る	水処理の不適	その他の不適	小計	機械能	工具備	小計	
ボイラー等の種類	不良	良	良	不良	不備	他	計	不	不	故障	誤り	怠る	不適	他	計	良好	ない	計	計	
合計				1	1		1			2			2		3				8	
ボイラー				1			1			1			1		2				5	
第一種圧力容器					1															1
第二種圧力容器															1					1
その他圧力容器(適用除外)											1									1

(厚生労働省に報告のあったもの)

